

日本整形外科学会教育研修講演を 受講される皆様へ

申込方法

参加登録（ホームページからのオンライン登録）完了後にマイページ（参加登録後にアクセスできるページ）から単位申込を行ってください。

受講料（1講演：1,000円）

受講証明（現地参加の場合）

- ・講演開始10分前から開始10分後までに、IC会員カードを講演会場入り口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。講演開始後10分を過ぎた場合、入場手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。
- ・オンデマンド配信期間終了後、単位反映の手続きをいたします。日整会会員専用ページの「専門医制度取得単位照会の単位振替システム」にて単位取得状況をお確かめください。
- ・研修手帳をお持ちの方も、IC会員カードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、研修手帳に受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

受講証明（オンデマンド配信視聴の場合）

- ・Web開催ページより受講申込みされた講演のオンデマンド配信をご視聴いただき、e-テストを受けてください。e-テスト完了は必須で、視聴のみでは受講したとは見なされません。

<ご注意ください>

- ・2015年1月1日から、研修会単位取得報告を従来の受講証明書からデジタル方式へと完全に移行しておりますので、専門医および研修期間の会員の方は、受講の際は必ず日整会IC会員カードをご持参ください。「日整会保存用」の受講証明書はありません。カードがお手元にない方は事前に、日本整形外科学会事務局<03-3816-3671>までお問い合わせください。
- ・学会当日は、土曜日、日曜日となり日本整形外科学会事務局にて対応できかねますのでご了承ください。

- ・単位の必須分野番号を受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いいたします。

下記講演が日本整形外科学会の教育研修講演として認定されております。

(* 教育講演3, 教育講演4, 教育講演5は共通講習)

【5月8日(土) プログラム】

会長講演	11:30-12:30	第1会場	運動器と宇宙医学	志波 直人	久留米大学医学部整形外科
海外招待講演	10:20-11:20	第1会場	Cutting edge of pain control in musculoskeletal disease	Neil Segal	Department of Rehabilitation Medicine, University of Kansas Medical Center
教育講演1	14:20-15:20	第1会場	運動とマイオカイン	田中 廣壽	慶應義塾大学医学部 特別招聘教授 東京大学名誉教授
ランチョンセミナー1	12:45-13:45	第1会場	腰痛診療ガイドライン改訂にみる慢性腰痛治療～神経障害性疼痛の関与と薬物療法を中心に～	折田 純久	千葉大学フロンティア医工学センター, 千葉大学大学院医学研究院整形外科学
ランチョンセミナー2	12:45-13:45	第2会場	転倒メカニズムから考察する新たな転倒予防-摂動型トレッドミルシステム-	石井慎一郎	国際医療福祉大学大学院福祉支援工学分野
ランチョンセミナー3	12:45-13:45	第3会場	成人期の脊髄性筋萎縮症(SMA)の診断と治療	綾木 孝	京都大学脳神経内科
教育講演2	17:00-18:20	第1会場	非特異的腰痛の体幹筋トレーニング:急性期・亜急性期・慢性期のマッチングモデルから	荒木 秀明	日本臨床徒手医学協会

【5月9日(日) プログラム】

教育講演3*	10:10-11:10	第1会場	診療報酬制度の現状と展望	佐藤 敏信	久留米大学 特命教授(医療政策担当), 元・厚生労働省健康局長・保険局医療課長
			治療に関わる診療報酬について	五味潤聡志	五味潤整形外科医院
教育講演4*	11:20-12:20	第1会場	医療安全の実際	田中 芳明	久留米大学病院 医療安全管理部
教育講演5*	12:30-13:30	第1会場	感染症に対する最新治療法	白濱 正博	(医) 慶仁会 川崎病院
教育講演6	13:40-14:40	第1会場	脊椎脊髄疾患における医療倫理と治療の実際	佐藤 公昭	久留米大学医学部 整形外科

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医の 資格継続について

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医の先生は、資格継続のため、下記関連学会への出席により1単位を取得することができます。

申請は年1回（春頃）行われますので、詳細は日整会誌の会告、会員専用ページをご参照ください。

- ＜認定学会＞
- ・日本運動器科学会
 - ・日本腰痛学会
 - ・日本リハビリテーション医学会
 - ・日本脊髄障害医学会
 - ・日本義肢装具学会

日本リハビリテーション医学会の教育研修講演を 受講される皆様へ

申込方法

参加登録（ホームページからのオンライン登録）完了後にマイページ（参加登録後にアクセスできるページ）から単位申込を行ってください。

受講料（1講演：1,000円）

（会期中の取得上限はリハビリテーション科専門医が2単位、認定臨床医が20単位となります。）

受講証明

現地参加の方は当日、会場の単位受付へお越しください。

オンデマンド配信視聴のみの方は、視聴ログを確認し、ご連絡させていただきます。

下記講演が日本リハビリテーション医学会の教育講演として認定されております。

【5月8日（土）プログラム】

会長講演	11:30-12:30	第1会場	運動器と宇宙医学	志波 直人	久留米大学医学部整形外科
海外招待講演	10:20-11:20	第1会場	Cutting edge of pain control in musculoskeletal disease	Neil Segal	Department of Rehabilitation Medicine, University of Kansas Medical Center
教育講演1	14:20-15:20	第1会場	運動とマイオカイン	田中 廣壽	慶應義塾大学医学部 特別招聘教授 東京大学名誉教授
ランチョンセミナー1	12:45-13:45	第1会場	腰痛診療ガイドライン改訂にみる慢性腰痛治療～神経障害性疼痛の関与と薬物療法を中心に～	折田 純久	千葉大学フロンティア医工学センター, 千葉大学大学院医学研究院整形外科学
ランチョンセミナー2	12:45-13:45	第2会場	転倒メカニズムから考察する新たな転倒予防-摂動型トレッドミルシステム-	石井慎一郎	国際医療福祉大学大学院福祉支援工学分野
ランチョンセミナー3	12:45-13:45	第3会場	成人期の脊髄性筋萎縮症(SMA)の診断と治療	綾木 孝	京都大学脳神経内科
教育講演2	17:00-18:20	第1会場	非特異的腰痛の体幹筋トレーニング:急性期・亜急性期・慢性期のマッチングモデルから	荒木 秀明	日本臨床徒手医学協会

【5月9日（日）プログラム】

教育講演6	13:40-14:40	第1会場	脊椎脊髄疾患における医療倫理と治療の実際	佐藤 公昭	久留米大学医学部 整形外科
-------	-------------	------	----------------------	-------	------------------

日本運動器科学会認定セラピストの資格継続に関するお知らせ

日本運動器科学会が認定するセラピストの方々は、1回の日本運動器科学会学術集会への出席により、資格継続のための2単位を取得することができます。

参加単位を希望の方は、オンライン登録にて参加登録される際に、認定セラピストの参加単位の項目も選択してください。（資格継続申請には、学会参加での単位は4単位を限度とします。）

また、今回の第32回日本運動器科学会では、参加単位（2単位）に加えて下記の講演受講で「資格継続研修会受講単位」として各1単位ずつ取得が可能です。（ただし、取得上限が1日4単位/2日で6単位までとなっております。）「資格継続研修会受講単位」は、現地参加が必須となっております。オンデマンド配信の聴講のみでは取得できません。ご希望の方はセラピスト受付デスクにてお申し込みください。事前のお申し込みは必要ありません。また、単位取得料として学会参加費とは別に1単位（1講演）1,000円をセラピスト受付デスクにてお支払いください。

資格継続研修会受講単位

【5月8日（土）プログラム】

会長講演	運動器と宇宙医学	1単位
海外招待講演	Cutting edge of pain control in musculoskeletal disease	1単位
教育講演1	運動とマイオカイン	1単位
ランチョンセミナー1	腰痛診療ガイドライン改訂にみる慢性腰痛治療 ～神経障害性疼痛の関与と薬物療法を中心に～	いずれかの ランチョン セミナーで 1単位
ランチョンセミナー2	転倒メカニズムから考察する新たな転倒予防 －摂動型トレッドミルシステム－	
ランチョンセミナー3	成人期の脊髄性筋萎縮症（SMA）の診断と治療	
教育講演2	非特異的腰痛の体幹筋トレーニング： 急性期・亜急性期・慢性期のマッチングモデルから	1単位

【5月9日（日）プログラム】

教育講演3	診療報酬制度の現状と展望	1単位
	治療に関わる診療報酬について	
教育講演4	医療安全の実際	1単位
教育講演5	感染症に対する最新治療法	1単位
教育講演6	脊椎脊髄疾患における医療倫理と治療の実際	1単位

日本医師会生涯教育講座

現地参加された方が対象です。

医師の方には後日、単位付与いたしますので単位受付にてご芳名くださいますようお願いいたします。お名前の記載がない場合、単位登録ができかねますのでご注意ください。

各種会議のお知らせ

（※委員会会場はすべて久留米シティプラザ内のお部屋です。）

理事会	5月7日（金）16：30～17：45	5F「大会議室3」
評議員会	5月7日（金）18：00～19：00	5F「大会議室1・2」
学術プロジェクト委員会	5月8日（土）12：30～13：00	4F「小会議室1・2」
広報委員会	5月9日（日）7：30～8：30	4F「小会議室1・2」
診療報酬・内外保連委員会	5月9日（日）7：30～8：30	4F「小会議室3」

最優秀演題賞のお知らせ

今回、日本運動器科学会の発展に寄与するものに対して優秀演題賞を設けることにいたしました。公募演題の中から抄録審査により優秀演題を選び、その中から学会当日に最優秀演題賞を本大会長にて決定する予定です。

5月8日（土）ランチョンセミナー後に第1会場にて表彰式を行います。

セラピスト指導医の学術集会参加必須化に伴う ご参加について

第32回日本運動器科学会に現地にてご参加の際は、日本整形外科学会のIC会員カードを必ずご持参ください。当日、学会参加登録後に、「セラピスト単位受付」にお立ち寄りいただき、IC会員カードを読み取り機にかざしてください。オンデマンド配信視聴のみの場合は、参加登録時のお申込内容と視聴ログにて確認させていただきます。

後日「参加証明書」を郵送させていただきます。

セラピスト研修認定制度規則 第4条（1）指導医の条件として「5年間に1回以上、本学会の学術集会に参加すること」が2018年6月22日の理事会で承認されました。

この規則変更は評議員会、会員総会でも報告され、同日をもって施行されています。

セラピストの指導医という重要な役割を担っている会員には、学術集会参加を通して運動器リハビリテーションに関する見識をブラッシュアップしていただきたい、というのがこの規則変更の目的です。学会参加者の方でセラピスト指導医の方には学会参加証明書を発行いたします。

この新規則は2018年6月にすでに施行されており、2018年に参加された方を除いて、セラピスト指導医の方は2023年までに1回は学会参加が必須となります。

つきましては、特定の年度への参加集中を避けるため、暫定処置として2018年学術集会から2022年学術集会に参加の場合は以下のように移行猶予による有効期間の延長を設けますのでご承知おき願います。

参加年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
2018年	通常の有効期間				移行猶予延長期間							次回の有効期間				
2019年	通常の有効期間				移行猶予延長期間							次回の有効期間				
2020年	通常の有効期間			移行猶予延長期間							次回の有効期間					
2021年	通常の有効期間			移行猶予延長期間							次回の有効期間					
2022年	通常の有効期間			移行猶予延長期間							次回の有効期間					
2023年	通常の有効期間				移行猶予延長期間							次回の有効期間				
2024年	通常の有効期間				移行猶予延長期間							次回の有効期間				